

奨学生志望の皆さんへ

一般財団法人中西奨学会の「目的および事業」として、その定款の

第3条（目的）に

この法人は、高等学校、高等専門学校、大学または大学院の学生生徒で、学業優秀、品行方正でありながら経済的理由により修学困難な者に対して奨学援助を行い、将来社会に貢献し得る有用な人材を育成するとともに、産業科学技術に関する調査、研究に対する助成を行い、もってわが国産業科学技術水準の向上に寄与することを目的とする。

第4条（事業）に

この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 奨学金の給付
 - (2) 科学技術に関する研究に従事する者に対する助成
 - (3) その他前条の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項各号の事業は、日本全国において行うものとする。

と規定されており、これに基づいて定められた「奨学金給与規程」、「奨学生募集要項」等により選考の上、当会から奨学金の無償給付を受ける「奨学生」に採用されます。

本会の奨学金制度の内容や、奨学生募集の詳細については貴校事務室（奨学金担当）にお問い合わせの上、ご応募ください。

【応募先・お問い合わせ先】

〒530-8566 大阪府大阪市北区天満橋三丁目三番五号
中西金属工業株式会社内
一般財団法人 中西奨学会
TEL_06-6351-4144
E-mail:shogakukai@nkc-j.co.jp

奨学生募集要項（附 「奨学生願書」 記入上の注意）

一般財団法人中西奨学会

1. 申請の資格

学校教育法による学校において、人物、学力とも優秀で、かつ、経済的理由により本会の奨学金の給付が必要であると認められる方に限ります。ただし次の方は出願の資格はありません。

- (1) 最短修業年限をこえて在学する方
- (2) 選科生、聴講生等の別科生
- (3) 同一世帯の生計維持者の前年度の収入金額が税込 500 万円を越える方

※学資の支払いが困難な学生に対する給付が目的であるため、原則としてご遠慮願います。ただし、兄弟姉妹の人数など、特別な事情がある場合はこの限りではありませんので事務局にご相談ください。

【他奨学金との併用について】

他の奨学金制度との併用は、貸与型・給付型問わず可能とします。

2. 申請の手続き

本会の奨学金給与規程第 4 条により次の書類を必ず提出してください。

- (1) 奨学生願書（本会所定用紙）
- (2) 在学学校長または学部長の推薦書（様式は任意とする）
- (3) 昨年度の成績証明書

3. 奨学生の種類と奨学金の月額、給付期間

奨学生の種類、奨学金の給付月額および給付期間は以下の通りです。

区分	国公立	私立	給付期間
高等学校奨学生	10,000 円/月	15,000 円/月	2 年生より 2 年間
高等専門学校奨学生	20,000 円/月		2 年生より 4 年間
大学奨学生	40,000 円/月	45,000 円/月	3 年生より 2 年間
大学院奨学生	40,000 円/月	45,000 円/月	修士 1 年生より 2 年間

4. 申請の時期、採否決定の時期と通知の方法

奨学金給与申請の時期は4月1日～5月末日までとし、6月上旬に採用を決定します。採用となった者には学校を通じ「奨学生採用通知」を送付し本人に通知します。新規奨学生向け給付スケジュールは以下の通りです。

奨学金給付スケジュール			
給付時期	7月末	10月末	1月末
対象給付月	4～9月分	10～12月分	1～3月分

5. 採用になった場合

採用になった場合は、採用通知に同封の「奨学生採用時書類 提出要領」に従って指定の期日までに必要書類を提出してください。

理由なく期日までに提出を怠った者は採用を取消します。

6. 奨学生の義務

- (1) 当会の奨学金給与規程および奨学生募集要項に記載の各条項をよく読んで、その規定に違反しないよう常に心掛けてください。
- (2) 学問、教養を十二分に身につけて社会に貢献する立派な人材になりうるよう懸命に努力してください。
- (3) 奨学金は学生生徒がまじめに勉学をするための学資として無償給付を受けるもので、奨学生は卒業後も返還する義務は全くありません。
- (4) また卒業後就職その他についても何らの拘束を受けることはありません。
- (5) 但し、願書の記載内容をごまかしたり、その他不正な手段によって奨学金の給付を受けたことが判明したときは、即時、全額を一時に返還する義務が生じます。
- (6) 休学等、修学状況に変更があった際は、遅滞なくその事由を指定の書面で届け出てください。無届けのまま放置されますと、奨学金給付を停廃止されることもありますので、くれぐれも注意してください。

「奨学生願書」記入上の注意

奨学生願書は、選考上の大切な資料でありますから、申請時現在の状態で事実をありのままわかるように記入してください。記載すべきことが書かれてないとき、判読困難等不備の申請書は選考から除外します。また記載内容が故意に事実と相違して記入してある場合は、採用後においても採用を取消しますから正確に記入するよう注意してください。

1. 「氏名・現住所」

氏名・現住所は必ず記入し、氏名にはふりがなをカタカナで記入してください。各欄は同一の場合でも「同上」とせず、必ずそれぞれの欄にあらためて記入してください。自宅については、父母または家計支持者と同居している場合は、借家、間借、親戚宅等であっても自宅とします。

2. 「専攻の具体的内容」

高校生・高専生は得意科目や現在学んでいることについて、大学生・大学院生は研究テーマ等について記入してください。

3. 「奨学金を希望する理由」

奨学金給与を申請するに至った事情などを具体的に記入してください。

4. 「家族に関する事項」

「家族」には、同居・別居を問わず、申請者の父母、兄弟、姉妹を全員記入してください。

- (1) 年齢は申請時の4月1日現在で満年齢を記入してください。
- (2) 職業は、公務員、会社員、自営業等記入してください。
- (3) 勤務先は具体的に記入してください。

5. 「年収（税込）」

同一世帯の生計維持者（※1）の前年度の税込収入金額（※2）を、必ず家族に確認の上記入してください。

- （※1）学生・生徒の学費や生活費を負担する人のこと。原則として父母。
- （※2）源泉徴収票等の支払金額で、1年間の税込収入のことを指す。

奨学生願書の提出等で得た個人情報、奨学金給付ならびにこれに関連することのみに使用し、奨学生の個人情報を奨学生または保証人の同意なしに第三者に開示・提供することはありません。（ただし、法令などにより開示を求められた場合を除きます。）

一般財団法人中西奨学会 奨学金給付規程

一般財団法人中西奨学会 奨学金給付規程

第1章 総 則

一般財団法人中西奨学会定款第3条に基づき、この規程を定める。

(奨学生の資格)

第1条 当会の奨学生となるものは、高等学校、高等専門学校、大学または大学院に在学し、学業、人物とも優秀で、かつ、学資の支払いが困難と認められる者でなければならない。

(奨学生の種類)

第2条 奨学生の種類は、次に掲げられるものとする。

- (1) 高等学校奨学生
- (2) 高等専門学校奨学生
- (3) 大学奨学生
- (4) 大学院奨学生

(奨学金の給付期間および金額)

第3条 奨学金を給与する期間は、正規の最短就業年限とする。

2 奨学金の給付月額および給付期間は、次のとおりとする。

区分	国公立	私立	給付期間
高等学校奨学生	10,000 円/月	15,000 円/月	2年生より2年間
高等専門学校奨学生	20,000 円/月		2年生より4年間
大学奨学生	40,000 円/月	45,000 円/月	3年生より2年間
大学院奨学生	40,000 円/月	45,000 円/月	修士1年生より2年間

第2章 奨学生の採用と奨学金の交付

(奨学生願書および奨学生推薦書の提出)

第4条 奨学生志望者は、当会指定の奨学生願書に、在学学校長または学部長の推薦書を添えて当会に提出するものとする。

(奨学生の採用)

第5条 奨学生の採用は、選考委員会による推薦指定校の選考を経て、各学校からの推薦者を理事長が承認決定し、在学校の対象事務局を経て、本人に通知する。

- 2 奨学生として採用された者は、前項の通知を受けた日から15日以内に保証人と連署した誓約書兼身元保証書を当会事務局あてに提出しなければならない。

(奨学金の交付)

第6条 奨学金は、3ヶ月分を合わせて給付するものとする。ただし、特別の事情があるときは、この限りではない。

- 2 奨学金の給付は、直接本人に送金して行うものとする。振込通知は在学校の事務局に送付するものとする。

(学業成績および生活状況の報告)

第7条 奨学生は、毎年度末、生活状況報告書を当会事務局あてに提出しなければならない。

(異動届出)

第8条 奨学生は、次の各号の一に該当する場合は、直ちに届け出なければならない。ただし、本人が病気その他の事由により報告できないときは、保証人が届け出るものとする。

- (1) 休学、または長期にわたって欠席しようとするとき。
- (2) 停学、退学、留年、またはその他の処分を受けたとき。

(奨学金の停止)

第9条 奨学生が休学、または長期にわたって欠席したとき、またはその他必要があると認めるときは、奨学金の交付を停止する。

(奨学金の復活)

第10条 前条の規定により奨学金の給付を停止された者が、その事由が止んで復学が確定した際は、復活願の提出をもって、奨学金の給付を復活することがある。

(奨学金の廃止)

第11条 奨学生が、次の各号の一に該当するときは、在学学校長の意見を参考にして奨学金の給付を廃止する。

- (1) 在学学校で処分を受け、停学または退学となったとき
- (2) 学業成績が不良となり最短修業年限での卒業が見込めなくなったとき
- (3) 傷病などのため成業の見込みがなくなり、退学となったとき
- (4) その他、第1条に規定する奨学生としての資格を失ったとき、または、前各号のほか、奨学生として適当でない事実があったとき

(奨学生の辞退)

第12条 奨学生は、いつでも在学学校長または学部長を経て奨学金の辞退を申し出ることができる。

第3章 補 則

(実施細目)

第13条 この規程の実施について必要な事項は、別に定める。

(改廃手続)

第14条 この規程の改定または廃止は理事会の決議により行う。

附則

1. 施行日

この規定は、平成24年4月1日から実施する。

2. 履歴

平成25年4月1日改定

2020年3月16日改定

2021年3月1日改定

奨学生願書

(西暦) 年 月 日

一般財団法人中西奨学会
理事長 中西 竜雄 殿

私は、貴会の奨学金給与規程および奨学生募集要項に定める諸規定を了承の上、貴会の奨学生に採用いただきたく、所定願書に必要な書類（学校長発行推薦書、成績証明書）を添付して申請します。

写真
最近6ヶ月以内に
撮影
約30㉿×40㉿
本人上半身

(フリガナ) 氏名		男・女	生年月日	年 月 日 (満 歳) ※申請日時点
現住所	(〒 -) 【住居形態】 家族と同居・一人暮らし・その他()			
TEL	携帯 自宅	E-mail		
学校 学科			学年	

— 身上書 — ※できるだけ具体的かつ正確に書いてください

I 本人に関する事項

希望進路		趣味・特技	
専攻の具体的内容			
奨学金を希望する理由：	<hr/> <hr/> <hr/>		

II 家族に関する事項

家族現住所	(〒 -)				
家族連絡先	TEL： (続柄：)				
続柄	家族氏名	年齢	職業・勤務先 又は在学学校名	年収(税込) (生計維持者のみ)	同居 別居
				万	同・別
				万	同・別
				万	同・別
				万	同・別
				万	同・別

年 月 日

殿

筑波大学長
永田 恭介

推 薦 書

下記の者を、貴奨学生として適当と認め推薦いたします。

記

所属	筑波大学	群	学類	研究群	年次
氏名	_____				

推薦所見

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

指導教員等	所属	氏名	印
-------	----	----	---

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次										
		_____課程			_____大学院			_____研究群			_____年次	
	学籍番号								性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)
	フリガナ									家族住所	〒 _____ TEL (_____)	
氏 名												
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称		給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額		
		父				年			万円	万円		
		母					年			万円	万円	
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()										
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()										
別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別		通学別	控 除 額		
		本人			筑波大学	国立			※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無									
	障害者がある世帯		※有・無		続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()							
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)									
	アルバイト		月額 (千円) 内容 ()		認 定							
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()		総収入金額 ① 万円							
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()		必要経費 ② 万円							
	その他の収入		月額 (千円) 内容 ()		特別控除額 ③ 万円							
				総所得金額 ④=①-②-③ 万円								
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人		
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円		
	修得単位数または科目数									家計充足率	⑥=④÷⑤×100	

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。